

刀林館正雄 とねいどう 新聞人、歌人。明治二十一年四月二十日三重縣宇治山田市岩淵生れ、昭和十八年一月二十七日歿（八八—一九四三）。明治四十三年神戸高等商業學校卒。川崎銀行、勝田汽船を経て、大正十二年東京朝日新聞社入社、累進して昭和十二年役員待遇。この間下村海南に作歌を勧められ、同僚土岐善麿の紹介で昭和二年佐佐木信綱の竹柏會に入つた。

歌集に『旅』（昭和八年十一月二十日自刊、竹柏會「心の花叢書」）、『故郷』（昭和十五年十一月八日ごろりあ・そきえく「心の花叢書」）がある他、『新聞経営研究』（昭和十一年刊）、『朝日精神私論』（昭和十四年九月二十日兵庫・自刊）、『日本精神と新聞』（昭和十六年十一月二十日ごろりあ・そきえく）を著した。『追想刀林館正雄』（昭和四十八年一月）二十七頁刀林館正久・刀林館正也編刊あり。



追想
刀林館正雄